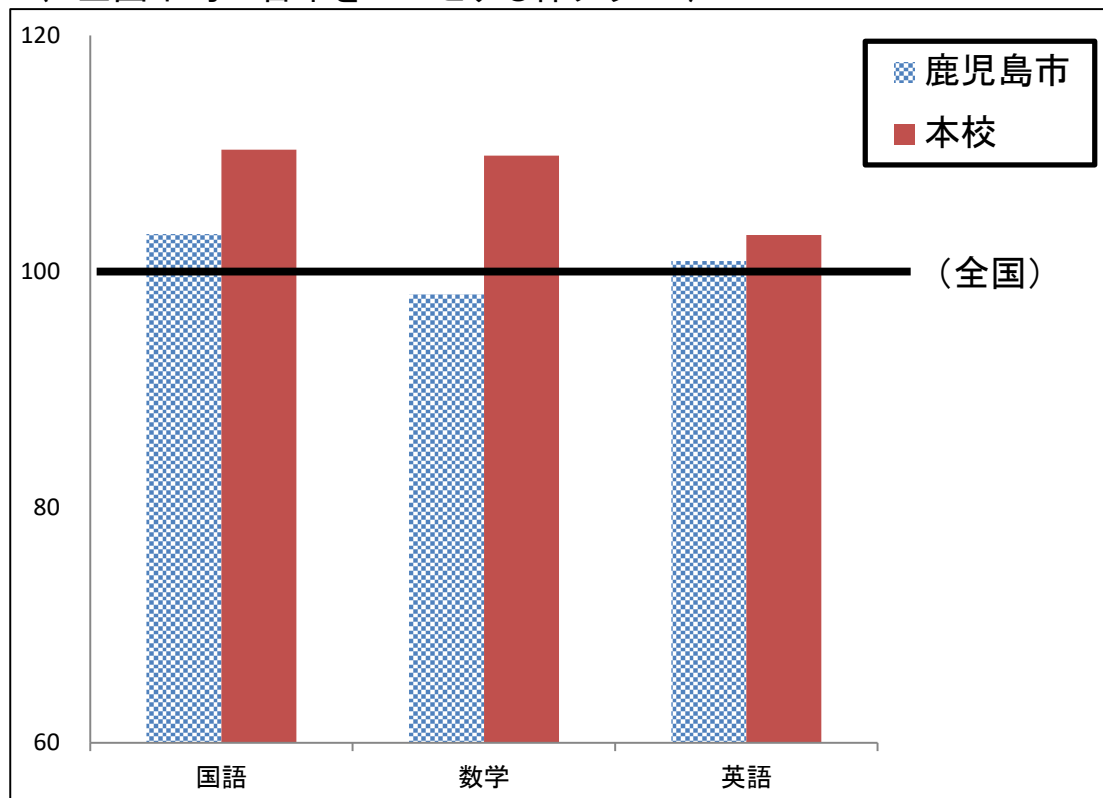


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

星峯中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

《国語》

全体では、鹿児島県、全国の平均を大きく上回っている。思考・判断・表現等の分野別においても、すべての項目で、鹿児島県、全国の平均を上回っている。目的や場面に応じて質問をする内容を検討する設問や、事象や行為、心情を表す語句の理解に関する設問の正答率がやや低かったので、目的や場面に応じ思考・判断・表現させる場面を取り入れたり、言葉の特徴や使い方に関する指導に継続的に取り組んだりしていく。

《数学》

全体では、鹿児島県、全国の平均を上回っている。知識・技能、思考・判断・表現等の分野別においても、すべての項目で鹿児島県、全国の平均を上回っている。数と数式の乗法の計算の問題で、県、全国より大きく下回っており、また、問題場面における考察の対象を明確にとらえることができるかをみる問題が県、全国よりやや下回っていたので、日々の計算問題に取り組むことにより計算力向上に努め、知識・技能を高める場面をより多く取り入れていく。

《英語》

全体では、鹿児島県、全国の平均をやや上回っている。知識・技能、思考・判断・表現の各項目においても、すべての項目で鹿児島県、全国の平均を上回っているが、問題別集計では、5つの問題が、鹿児島県、全国の平均を下回っていた。特に、情報を正確に聞き取ったり、読み取ったりする問題、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題に課題が見られた。「聞く、読む、書く」の場면을効果的に取り入れた指導を継続的に取り組んでいく。

【改善策】

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は規範意識が高く、志を高く持ち、学校生活をしているが、計画的に家庭学習を行うことにやや課題がみられるので、生活の記録を活用して学習計画を立てさせながら日々の学習に取り組ませていく。また、新聞を読んでいる生徒が10%もいないことから、授業の中で新聞等を活用し、さまざまな情報やデータを読み取り活用する力を身につけさせたい。新聞や書物だけでなく、授業の中でのICT機器の活用が少ないとの回答が多かったので、効果的に活用する場面を取り入れていく。